

# オーロラに駆けるサムライ 和田重次郎

The Samurai who Chased The Aurora

Jujiro Wada



和田重次郎は、明治8年に愛媛県周桑郡小松町(現西条市)に生まれ、松山市日の出町で幼少期を過ごしますが、明治25年に大志を抱き、独りアメリカに密航します。原住民さえ恐れた北極圏を犬ぞりで探検し、多くの金鉱や油田を発掘、当時未開の地であったアラスカ・カナダ開拓に偉大な足跡を残します。その一方、松山市日の出町に残してきた母セツには、終生孝養を尽くしました。

Jujiro Wada born in Saijo, Ehime prefecture in 1875. He spent his childhood days in Hinode town in Matsuyama city. He embraced an ambition and it made him smuggle into the United States alone in 1892. He explored the Arctic Circle with a dog sled, which was an adventure even the indigenous people were afraid of. He discovered lots of gold mines and oil fields and left a great footprint in terms of the development of Alaska and Canada, a savage land in those days. Meanwhile, he continued to be a devoted son to his mother Setsu in his hometown all through his life.



平成19年9月3日に和田重次郎顕彰碑を建立しました。(日の出町河川緑地公園)

Jujiro Wada Memorial monument was built on September 3, 2007. (at the riverside park of Hinode Town)



平成27年5月1日に重次郎の生涯を描いたみかん一座ミュージカルをアラスカ・アンカレッジにて公演しました。The musical "The Tale of Jujiro Wada" was performed by Mikan Ichiza in Anchorage, Alaska on May 1, 2015.



平成28年9月23日にアラスカ・スワードにて和田重次郎像が建立されました。

Jujiro Wada Memorial Monument was built in Seward, Alaska on September 23, 2016.

**顕彰会会員募集中!!** NPO 法人和田重次郎顕彰会は、アラスカ・カナダの開拓者和田重次郎を広く知ってもらうために活動しているボランティア団体です。多くの方々と一緒に活動を盛り上げていきたいです。顕彰会の年会費は、**1,000 円**。賛助会費(年間)は、個人 **1口 3,000 円**。法人 **1口 10,000 円**です。お申し込みは、**裏面の会員申込書**に必要事項を記入して下記事務局までファックスあるいはメールにて送信してください。会費の振り込み口座は、「伊予銀行松山市役所支店 1330500」「愛媛銀行松山市役所支店 3200108」。口座名はいずれも「NPO 法人和田重次郎顕彰会」。郵便振替は、「01630-9-111920 和田重次郎顕彰会」です。ご入会心からお待ちしています!!

和田重次郎の生涯を描いた、谷 有二著「オーロラに駆けるサムライ」をお買い求めの方は、事務局までファックスあるいはメールにてお申込みください。送料込みで **2,500 円**です。特製クリアファイル・DVD「オーロラになったサムライ」・漫画「和田重次郎物語」も進呈します。本代は、郵便振替「01630-9-111920 和田重次郎顕彰会」まで



●和田重次郎顕彰事務局  
〒790-0823 愛媛県松山市清水町二丁目  
18番地7  
ファックス 089-924-8286  
電話 090-7787-5780  
メール ueoka@sgr.e-catv.ne.jp  
HP アドレス <https://wadajujiro.com/>  
(global site) <https://global.wadajujiro.com/>

## 和田重次郎 History

- 1875年(明治8年)1月6日 愛媛県周桑郡小松町(現西条市)にて、父和田源八(旧小松藩士)と母セツの次男として生まれる。
- 1879年(明治12年)4歳 父源八が病死し、母セツの実家のある愛媛県温泉郡素鷲村(現 松山市日の出町)に移る。
- 1886年(明治19年)11歳 母セツの親戚にあたる「戸田製紙」にて働く。
- 1892年(明治25年)17歳 「住友になる」という大志を抱き、アメリカに密航。サンフランシスコに上陸後、捕鯨補助艦バラエナ号に乗り、三年間北氷洋で働く。
- 1894年(明治27年) <日清戦争勃発>
- 1896年(明治29年)21歳 秋、日本に一時帰国し、母に孝養を尽くす。
- 1897年(明治30年)22歳 アラスカに戻ると、原住民のエスキモーさえ恐れていた北極圏の奥地を探検し、犬ぞり使いと狩猟の名手となる。氷に閉じ込められたニューポート号をジェニー号に乗り救援する。
- 1903年(明治36年)28歳 毛皮交易商をしながらアラスカ・カナダで金鉱発掘をする。特にフェアバンクスで金鉱を発見し、登録申請をするためにカナダのドウソンに駆けこむと、そのことが新聞記事に掲載され、金鉱を探し求める人々がどっとフェアバンクスに押し寄せ、アラスカ開拓史上名高い「タナナ・スタンピード」が起きる。
- 1904年(明治37年) <日露戦争勃発>
- 1906年(明治39年)31歳 原住エスキモーの生活向上に尽くし、三つの村を統括するキングになる。
- 1907年(明治40年)32歳 ノームでの50マイル(80キロ) 屋内マラソンで優勝(連続)し、「グレイト・ワダ」と称えられる。
- 1908年(明治41年)33歳 前人未踏のドウソンから5,000マイル(8,000キロ)に及ぶ北極海沿岸を犬ぞりで探検し、新聞で大きく報じられる。
- 1909年(明治42年)34歳 スワード商工会議所から、スワードからアイディタロット鉱山までのトレイル(雪道)の開拓を依頼され、30隊の犬ぞりを率いて調査する。そのトレイルのおかげで、1924年ノームでジフテリアが発生した時、フェアバンクスから犬糞で血清を運ぶことができ、多くの人の命を救える。これを記念して世界最長の犬糞レース、アイディタロード国際犬糞レースが1973年から始まる。
- 1913年(大正2年)38歳 クスコクウィム川周辺の金鉱発掘でタバスコ王マッキルヘニーと協働する。
- 1914年(大正3年)39歳 <第一次世界大戦勃発>  
ワダ・スパイ説が流れ、行方不明となり、一人娘の日米子が捜索願の新聞記事を出す。
- 1920年(大正9年)45歳 カナダ政府の油田調査員となり、北極圏からマッケンジー河全流域を探検する。
- 1933年(昭和8年)58歳 8月15日 母セツ 松山市日の出町で死亡する。
- 1937年(昭和12年)62歳 3月5日 アメリカのサンディエゴ郡病院で死亡する。



バラエナ号



フェアバンクスでの金鉱発見を伝える重次郎「ユーコン・サン紙」



ノームの屋内マラソン大会で連続優勝する。



重次郎の母セツ

和田重次郎顕彰会入会申込書 申込年月日 年 月 日 (紹介者 )  
(次のいずれかに○をしてください。)

顕彰会に入会する ・ 賛助会費になる (個人・法人 口) ・ 本も購入する( 冊)

氏 名(フリガナ)	郵便番号・住所	電話・メールアドレス
	〒      ー	